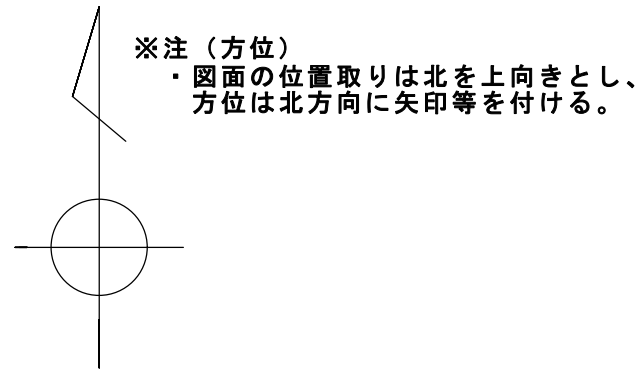


| 私所有の下記土地と隣接する大田区有地との境界について 本境界図のとおり合意する。 | | | |
|---|--|----------------|-------------|
| 立会場所・土地の地番 | 土地所有者 住所・氏名・印 | 立会年月日 | 合意年月日 |
| 大田区蒲田七丁目76番2 76番5 | 大田区〇〇〇三丁目△△番□□号 〇〇 〇〇 (実印) | 平成27年 10月1日 | 平成 年 月 日 |
| 大田区蒲田七丁目76番1 | 大田区〇〇〇三丁目△△番□□号 株式会社△△△△ 代表取締役 〇〇 〇〇 (代表印) | 平成27年 10月1日 | 平成 年 月 日 |
| 大田区蒲田七丁目76番4 | 大田区□□一丁目△△番□□号 〇〇 〇〇 (印) | 平成27年 10月1日 | 平成 年 月 日 |
| 大田区蒲田七丁目76番4 | 沖縄県〇〇市〇〇町△△番□□号 〇〇 〇〇 合意書により確認 | 平成27年 10月1日 | 平成 年 月 日 |
| 大田区矢口五丁目20番3 | 被相続人 〇〇 〇〇 大田区〇〇〇四丁目△△番□□号 相続人 〇〇 〇〇 (印) | 平成27年 10月1日 | 平成 年 月 日 |

| 土地境界図 | | 縮尺 |
|------------|-----------------------|----------|
| 土地所在 地番 | 大田区蒲田七丁目76番2 ほか ※注 | 1 250 |

※注(図面タイトル)
・申請地番を若い地番より記載し、地番が複数存在する場合は「ほか」を追記する。



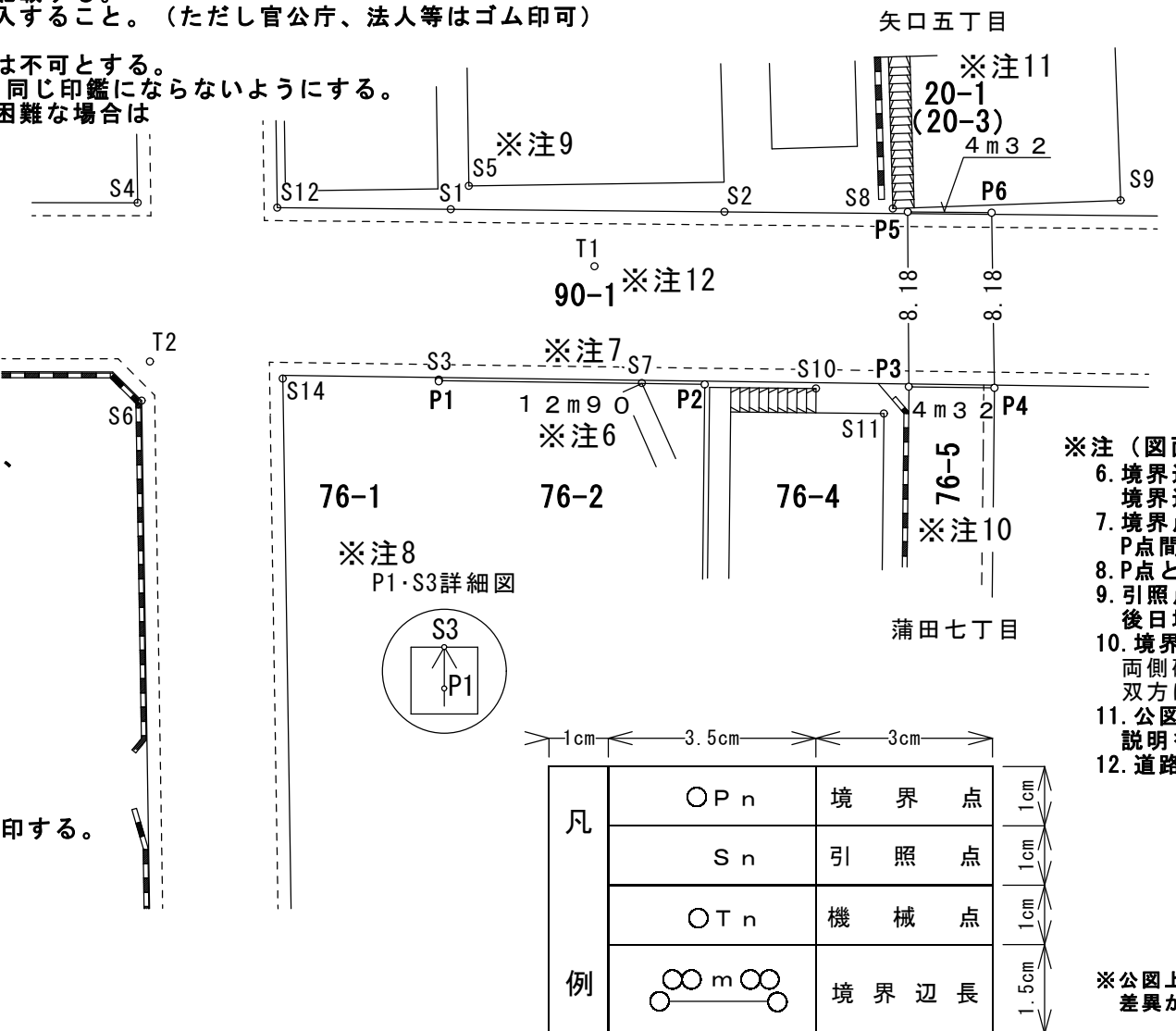
| 座標一覧表 | | | |
|-------|-----------|---------|--------------|
| No. | X | Y | 備考 |
| P1 | 93.921※注3 | 92.777 | 計算点 |
| P2 | 94.146 | 105.677 | 民プレート ※注4 |
| P3 | 94.318 | 115.542 | 計算点 |
| P4 | 94.394 | 119.864 | 計算点 |
| P5 | 102.499 | 115.399 | 計算点 |
| P6 | 102.575 | 119.721 | 計算点 |
| S1 | 102.105 | 92.795 | 民石 |
| S2 | 102.335 | 105.971 | 計算点 |
| S3 | 93.986 | 92.776 | 民石 |
| S4 | 101.999 | 77.851 | 区石 |
| S5 | 102.836 | 93.293 | 建物角 |
| S6 | 92.856 | 77.937 | 塀角 |
| S7 | 94.115 | 103.888 | 建物角 |
| S8 | 102.609 | 114.909 | 階段角 |
| S9 | 103.096 | 125.967 | 建物角 |
| S10 | 94.087 | 111.164 | 階段角 |
| S11 | 92.862 | 114.502 | 建物角 |
| S12 | 101.965 | 84.763 | 計算点(方向) |
| S13 | 103.638 | 180.657 | 計算点(方向) |
| S14 | 93.784 | 84.925 | 計算点(方向) |
| S15 | 95.457 | 180.801 | 区石 |
| T1 | 100.000 | 100.000 | 鉄 |
| T2 | 94.045 | 78.112 | 鉄 |
| T3 | 99.448 | 180.232 | 鉄(2A335) ※注5 |

※注(合意欄)
・立会場所、土地の地番、住所、氏名、立会年月日、合意年月日は、本人が記名・押印する。
・下図には、土地所有者が合意欄に記入する見本を記載する。
・記名は本人が黒色または青色のボールペン等で記入すること。(ただし官公庁、法人等はゴム印可)
・合意日は、本人の記名・押印とする。
・図面上の押印については、朱肉を使用しない判子は不可とする。
・関係土地所有者(隣地等)が2名以上いる場合は、同じ印鑑にならないようにする。
・遠隔者等で本人が図面内に記名・押印することが困難な場合は合意書(第5号様式)によることができる。

※注(図面全体)
・文字は黒一色に統一する。
・文字・数字の大きさは、実測2.5mm以上で鮮明に読めるようにする。
・原則、用紙の大きさはA2版、縮尺は1/250で作成し、下図は普通紙、本図は強靱な和紙を用いる。
・不明な点は区担当者との協議する。

※注(作成者欄)
1. 資格がある場合は、資格番号を記入する。
2. 和紙原図には、申請書と同一の印鑑(職印)を押印する。

| | |
|-------|---|
| 作成者 | 土地家屋調査士 東京都大田区〇〇一丁目2番3号 登録第〇〇〇号 大田 一郎 (職印) ※注2 |
| 作成年月日 | 平成 27年 10月 2日 |



※注(座標一覧表)
3. 座標値はm単位として1/1000まで記入し、1/1000未満は四捨五入とする。
4. 境界石などの標示物は、(種類・形状・向き)を表示する。
5. 球面補正が掛かっている座標の場合は縮尺係数を記載する。
①球面補正(震災前) 「任意座標 縮尺係数 0.9999〇〇」
②球面補正(震災後) 「測地成果2011 縮尺係数 0.9999〇〇」
震災後座標は、備考欄に基準点名を記載する。
③縮尺係数は地域により異なるため、必ず確認する。

※注(図面)
6. 境界辺長の表記はm(メートル)単位で少数第三位を切り捨てとし、民地側に記入。境界辺長が短い場合は引出し線も可とする。
7. 境界点はP点とし、白抜き一重丸で統一する。P点間を結ぶ線は太線とし、S点等を突抜ける。
8. P点と近接した箇所にS点がある場合には、詳細図で位置関係を表示する。
9. 引照点は、構造物等恒久的な物を用い、後日境界点復元に必要十分な点数(P点1箇所につき、3~4点)とする。
10. 境界線に接する民地地番は、算用数字を用いて民地側に表示する。両側確定時も同様対岸地番を記入し、町名又は丁目の境がある場合、双方に町名・丁目を記載する。(地番は公図に合わせ引出し線も可)
11. 公図と現地が異なる場合、上段に公図上の地番を下段に合意地番を()で記載し、説明を表示する。
12. 道路地番が存在する場合は、境界辺長近くに表示する。

| | | | |
|---|-----------|------|-------|
| 凡 | ○ P n | 境界点 | 1cm |
| | S n | 引照点 | 1cm |
| | ○ T n | 機械点 | 1cm |
| 例 | ○ ○ m ○ ○ | 境界辺長 | 1.5cm |

公図上地番 ※注11
(合意地番)

※公図上の土地地番と実際の土地地番に差異があるため、二段書きの表示とする。

縦7cm×横8cm以上
余白